

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	桜町、花畑周辺のにぎわいの創出【第2期】											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	熊本市											
計画の目標	九州中央の交流拠点を目指す熊本市において、桜町・花畑周辺は、平成24年3月に認定を受けた2期中心市街地活性化基本計画（熊本地区）において、本市中心市街地の中でも核となる地区と位置づけている。 このことから、桜町地区においては、再開発事業等により都市機能の更新や魅力ある都市空間としての再整備を行ない、にぎわい創出を図るものである。 さらに、再開発施設の隣接地に、利活用において自由度の高い「広場」を整備し、賑わいを最大化し、中心市街地の回遊性向上や上質な都市空間としての魅力向上を目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	21,425	A	21,425	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	中心市街地に賑わいがあると感じる市民の割合を増加させる 市民アンケート調査により、「中心市街地に賑わいがあると感じる市民の割合」を把握する。	41%	%	60%
2	中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を増加させる 中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を把握する。（旧産業文化会館～新市街 地点）	10644人	人	24788人
3	中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を増加させる 中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を把握する。（カリーノセカンド前 地点）	21300人	人	29792人
4	中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を増加させる 中心市街地における歩行者及び自転車通行者の通行量を把握する。（旧ダイエー・櫻井総本店前 地点）	24408人	人	30524人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
熊本連携中枢都市圏ビジョン(H28.3策定)に基づき実施される要素事業：1-A-1、1-A-2												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	熊本市	間接	熊本桜町再 開発株式会 社	-	-	桜町地区市街地再開発事 業	市街地再開発事業 約3.7ha	熊本市						8,674		-
	A16-002	住宅	一般	熊本市	直接	熊本市	-	-	桜町・花畑地区暮らし・ にぎわい再生事業	公益施設整備、花畑広場整備	熊本市						12,751		-
											小計						21,425		
											合計						21,425		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	378	3,062	2,514	2,270	0
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	378	3,062	2,514	2,270	0
前年度からの繰越額 (d)	210	559	2,914	2,758	2,270
支払済額 (e)	29	706	2,670	2,758	2,270
翌年度繰越額 (f)	559	2,915	2,758	2,270	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	桜町、花畑周辺のにぎわいの創出【第2期】	交付対象	熊本市
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)		

